

2019年3月26日(火)

14:00 - 17:00

会場 | 名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

トークイベント

clas

「芸術教育」と「clas」への提言

講師

大崎宣之

(基礎セミナー / 愛知県立芸術大学)

村上泰介

(講義「表象芸術論」 / 愛知淑徳大学)

松村淳子

(プロジェクトギャラリー「clas」
/ 名古屋大学)

cell for
liberal
arts &
sciences

トークイベント 「芸術系教育」と 「clas」への提言

昨年度プロジェクトギャラリー「clas」の10周年を記念した展示とシンポジウムが開催され、今年度はまたフェリーチェ・ヴァリーニ氏による《20の点と10の直線》が設置されてから10年になるのを記念した展示とイベントが開催されました。こうしたことに現れておりますように、教養教育院における芸術教育は、ひとつの大きな節目を迎えております。

そこでこれを機に、芸術系科目と「clas」のこれまでを再び振り返るとともに、今後の芸術系科目と「clas」はどのようにあるべきかについて、何人かの先生方を講師にお招きし、トークイベントを開催することいたしました。

名古屋大学のなかに目に見えて大きな芸術的变化をもたらした10年以上前と比べ、現在の教養教育院における芸術系教育にはどのような課題があるのか。また大学だけでなく社会全体が、SNSの普及やAIの浸透などによって10年以上前とは大きく変化するなか、そこで芸術教育がどのような役割を果たすことができるのか。こうしたことについて、本学を内側と外側の二つの視点から見つめてこられた先生方の貴重なご意見をうかがい、議論を深めていく機会にしたいと思います。



日時：2019年3月26日（火）14:00 - 17:00

会場：名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」
予約不要・無料

講師：大崎宣之（基礎セミナー／愛知県立芸術大学）
村上泰介（講義「表象芸術論」／愛知淑徳大学）
松村淳子（プロジェクトギャラリー「clas」／名古屋大学）

企画：秋庭史典（名古屋大学大学院情報学研究科准教授）

主催：名古屋大学教養教育院